



南方小児童と南方幼稚園児が参加して行われた防犯教室

かたり隊」を平成16年に結成。毎月1回、児童が小学校へ登校するときに、あいさつや語りかけなどをして防犯意識を高める活動を行っています。

このほかにも市内では、子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう、さまざまなボランティア団体による防犯活動の取り組みがなされています。

すべての小中学校で通学路の安全再点検、防犯教室も実施

佐沼警察署生活安全課の佐々木幸三課長は、「ボランティア団体の方々に防犯活動をしていただいているおかげで、子どもを狙った犯罪はも

ちろんのこと、市内における事件、事故防止につながっています。今後も各団体と協力して防犯活動を展開していきたい」と話しています。

《緊急対策4項目》

- ①全通学路の緊急安全点検
- ②すべての幼稚園、学校における防犯教室の実施
- ③すべての学校における情報共有体制の緊急立ち上げ
- ④学校安全ボランティアの充実

今年1月、市教育委員会は国や県からの通知を受け、市内すべての幼稚園、小中学校に対し、「緊急対策4項目」を実施するよう通知しました。

まず、通学路の緊急安全点検を27小学校、10中学校で実施し、「通学安全マップ」を作成。安全なルートや危険箇所を地図に記し、保護者に配布しました。

次に幼稚園、小中学校で防犯の大切さを学習するため、警察やPTAの協力ももらって防犯教室を実施。平成17年度中にすべての学校で終了しています。

不審者情報メール

【配信内容】
■不審者情報
■市民に危険がおよぶと思われるそのほかの緊急情報

【登録方法】
■<http://www.city.tome.miyagi.jp/kids/maddhtml> (パソコン用)
■<http://www.city.tome.miyagi.jp/kids/m.html> (携帯用)
■右のQRコードで携帯電話から読み取りもできます。

防災情報メール

【配信内容】
■大雨、洪水などの気象警報発令情報
■火災情報
■そのほかの災害情報

【登録方法】
■<http://www.city.tome.miyagi.jp/119/maddhtml> (パソコン用)
■<http://www.city.tome.miyagi.jp/119/m.html> (携帯用)
■右のQRコードで携帯電話から読み取りもできます。

今年度も南方小学校で6月7日、佐沼警察署員の協力を得て、全校児童245人と全教師が参加して行われました。署員の演じた不審者が木刀を持ち、奇声を発しながら授業中の校舎に進入。第一発見者役の教師がホイッスルを鳴らして危険を知らせると、ほかの教師が応援に駆け付け、モップやイスを使って不審者を取り押さえました。

その間、校内一斉放送があり、授業を受けていた児童たちは、担任教師の指示で教室から速やかに体育館へ避難。職員室にいた教師は警察署へ連絡するなど、的確な行動を見せていました。

その後、体育館では南方幼稚園児も参加し、署員が講師となつて防犯対策を学習しました。

不審者を取り押さえた訓練

最新の情報を得ることができると、市全体で「不審者情報メール」308件、「防災情報メール」552件(6月8日現在)と、登録者数が増えています。さらに多くの登録方法は左図を参照。

不審者情報メールサービスを開始

市では、情報の共有体制を強化するため、これまで行ってきたチラシなどを使った連絡、啓発活動のほかに、今年4月から開始した「不審者情報メール」、「防災情報メール」の登録を保護者などにも願っています。

最新の情報を得ることができると、市全体で「不審者情報メール」308件、「防災情報メール」552件(6月8日現在)と、登録者数が増えています。さらに多くの登録方法は左図を参照。

【表4】市内の防犯ボランティア団体

【管内全域】

- 佐沼地区河北ふれあいネット(新聞配達員)
- 地域まもり隊(JAみやぎ登米)
- 郵便局(配達員)
- 宮城県タクシー協会仙北支部登米ブロック(タクシー運転手)

【各地区】

- 米山防犯パトロール隊(保護司、更生保護女性会など)
- ブルービッキーズ(迫町ジュニアリーダー)
- 宮城県麺類飲食業生活衛生同業組合迫支部(迫町内種類組合員)
- 明治牛乳宅配センターミルクライフ(宅配員)
- 加賀野小PTA見守り隊(PTA)
- 新田子見守り隊(PTA)
- ランテック環境保全会(有ランテック)
- 高節土建環境保全会(有高節土建)
- 第3防犯隊(石越町地域住民)
- 第14区防犯隊(〃)
- 石越駅前防犯隊(〃)
- 長根防犯夜警会(〃)
- 遠沢防犯隊(〃)
- 石越孫護区シルバー隊(石越町遠沢・長根地区老人クラブ会員)
- 登米町わらすこかたり隊(登米町老人クラブ会員)
- 津山もくもく安全隊(津山町地域住民)
- 豊里ゲートボールパトロール隊(豊里町老人クラブ会員)
- 東和町子どもの安全を守る会(PTA)
- 錦織小マザードパトロール隊(〃)

【資料提供：佐沼・登米警察署】

※上記の団体以外で、独自に活動をしている方々は、佐沼・登米警察署生活安全課までお知らせください。

【問い合わせ】
宮城県佐沼警察署 ☎0220(22)2121
宮城県登米警察署 ☎0220(52)2121



地域防犯連絡所(左)と、子ども110番の家・店の看板

画を進めています。

また、地域住民による自主防犯活動の拠点として、市内全地区に274カ所(平成17年9月現在)の「地域防犯連絡所」が設置され、防犯連絡員が活動しています。

連絡所には、緑色の看板を掲示し、主に警察に対する地域住民の要望・意見の取りまとめや、警察や防犯協会からの防犯広報資料の配布など、犯罪防止活動をしています。

そのほか、市内全地区には「子ども110番の家・店」が400件以上設置されています。玄関先に黄色の看板を掲示し、小中学生が不審者から声掛けなどをされた場合に駆け込める場所としての役割も果たしています。

登下校時に町内全域をパトロール

市内には、ボランティアによる防犯隊が23団体結成されています。老人クラブやPTA

A、保護司、企業、商店など有志の人たちがジャンパーやたすきなどを自分で準備し、日々子どもたちの安全を守るためにパトロールを続けています【表4】。

「米山防犯パトロール隊」では、保護司や更生保護女性会員など17人が週1回、町内の小中学校児童生徒の登下校に合わせ、自家用車を使ってパトロールをしています。

また、迫町では、宮城県麺類飲食業生活衛生同業組合迫支部に加盟している組合員25人が、配達などの仕事をしながら不審者がいないかどうかパトロールをしています。

登米町では、老人クラブが主体となり「登米町わらすこ

通学路の巡回で防犯意識を高める

平成16年7月の結成以来、会員が自家用車で週1回、児童生徒の登下校時に通学路を巡回しています。蛍光色のジャンパーと腕章、車には防犯ステッカーを貼って活動していますが、子どもたちや地域住民に防犯意識を高めてもらい、地域から交通事故が少しでも減ってもらえればうれしいです。

■米山防犯パトロール隊
小林秀一郎さん(64歳・米山町八軒小路)

■加賀野小PTA見守り隊
千葉喜栄子さん(54歳・中田町加賀野一区)

学校の下校時に児童の父母、祖父母が中心となって、通学路で子どもたちが安心して家に帰れるよう見守っています。それぞれ腕章をして個人で活動していますが、何か起きた場合一人では対応できませんし、祖父母では大変ですので、地域の方々の協力をもらいながら活動していきたいです。

地域全体で子どもたちを見守りたい

配達中のパトロールで犯罪を抑止

組合員が防犯ステッカーを貼った配達車で、地域に不審者がいないかどうか配達中にパトロールをしています。10年前から活動していますが、最近では地域の方から不審者情報をいただいています。この活動が犯罪の抑止力になってもらえればと思っています。

■宮城県麺類飲食業生活衛生同業組合迫支部
名生 勤さん(66歳・迫町小金丁)

■登米町わらすこかたり隊
本間 正さん(90歳・登米町上館)

町内の老人クラブや美化活動をしているメンバーが主体で、毎月1回、登米小学校前で登校する児童に「おはよう」「交通事故に遭わないように」などと声掛けをしています。そのほか、畑仕事や散歩などの最中に子どもを見かけたら、声を掛けたり話をしたりして、子どもたちの安全を守っています。

声掛けや話をして子どもの安全を守る